





■片山義章選手のコメント

「朝の公式練習では、マシンのバランスがいまひとつで、グリップ感も不足しているような状況でした。いろいろとセットアップを変更して試したのですが、最後まで満足のいくセットアップは見出せませんでした。予選までにいろいろ話し合ってセットアップを変更しましたが、不安な要素が残っていたので、自分がQ1を担当することにしました。

予選中のアタックラップで、前のマシンがこちらに気が付いていなかったのかストレートでウィービングをしていて、パッシングをしたのですがどいてくれませんでした。それでタイムロスしてしまったのですが、なんとかQ1を通過出来て良かったです。アタックラップの次の週のセクター1が自己ベストなのは、ストレートで邪魔されなかったからですが、もう1周いくには残念ながらタイヤが終わっていました。その車両には予選後にペナルティが課されましたが、それがなければ、自分たちはもっといい順位で予選Q1を終えられたと思いますし、

明日の決勝までに、いろいろとセットアップについてはまだ試したいこともありますので、まずはウォームアップでそれを試せる範囲で試して、どうするか決めたいと思っています。決勝はニクラス・クルッテン選手と力を合わせて、良い結果を持ち帰るつもりです」



